

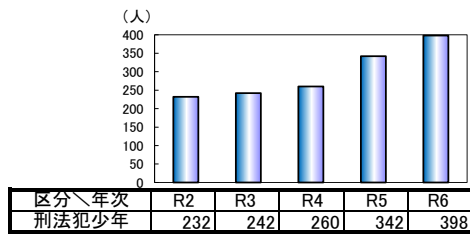
件 名

少年非行概況(令和6年中)

熊本県警察本部生活安全企画課

1 刑法犯少年の検挙・補導状況

(1) 年別推移



区分\年次	R2	R3	R4	R5	R6
全刑法犯に占める少年の割合	10.4	10.2	11.6	13.9	15.0

年次・区分	刑法犯総 検挙人員	刑法犯少年			刑法犯少年の 占める割合
		犯罪少年	触法少年		
令和6年	2,659 (561)	398 (66)	286 (51)	112 (15)	15.0
令和5年	2,462 (559)	342 (87)	220 (48)	122 (39)	13.9
増減数	197 (2)	56 (-21)	66 (3)	-10 (-24)	2.3
増減率	8.0 (0.4)	16.4 (-24.1)	30.0 (6.3)	-8.2 (-61.5)	

() は、女子で内数を表す。

〈初発型非行〉

年次\区分	総数	万引き	自転車盗	オートバイ盗	占有器物隠蔽
令和6年	186	123	35	18	10
令和5年	177	126	31	12	8
増減数	9	-3	4	6	2
増減率	5.1	-2.4	12.9	50.0	25.0

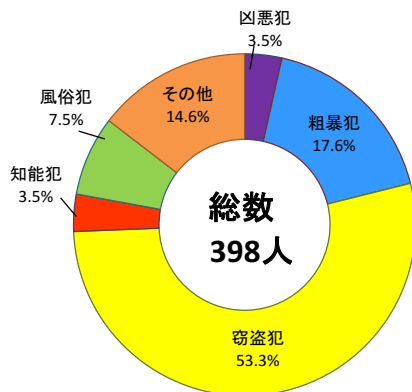
【特徴点】

- 検挙人員は398人で、前年比56人(16.4%)増加
 - ・ 犯罪少年は286人で、前年比66人(30.0%)増加
 - ・ 触法少年は112人で、前年比-10人(-8.2%)減少
 - ・ 女子は66人で、前年比-21人(-24.1%)減少
- 刑法犯総検挙人員に占める少年の割合は15.0%で前年比1.1ポイント増加
- 初発型非行は186人で全体の46.7%を占めており、前年比5.1ポイント減少

【主な検挙事例】

- ・ 高校生による暴力行為等処罰に関する法律違反事件(1月・東)
- ・ 中学生及び高校生による傷害、恐喝事件(2月・大津)
- ・ 無職少年による傷害事件(2月・中央)
- ・ 無職少年及び中学生らによる恐喝事件(3月・東)
- ・ 高校生による傷害事件(4月・大津)
- ・ 中学生らによる窃盗(オートバイ盗)事件(5月・八代)
- ・ 専門学校生による傷害事件(6月・中央)
- ・ 無職少年による窃盗(自動車盗)事件(7月・八代)
- ・ 有職少年による傷害、恐喝事件(8月・八代)
- ・ 高校生による恐喝事件(9月・八代)
- ・ 有職少年による公務執行妨害事件(10月・中央)
- ・ 有職少年らによる強盗致傷事件(11月・東)

(2) 罪種別



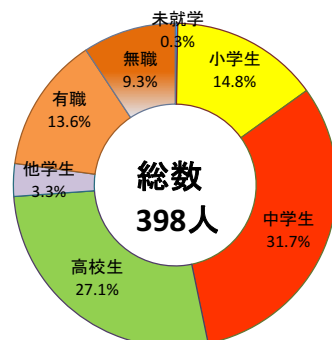
〈罪種別〉

年次\区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
令和6年	398	14	70	212	14	30	58
令和5年	342	4	57	221	9	6	45
増減数	56	10	13	-9	5	24	13
増減率	16.4	250.0	22.8	-4.1	55.6	400.0	28.9

【特徴点】

- 窃盗犯は212人で、前年比-9人(-4.1%)減少
 - ・ 万引き 123人
 - ・ 自転車盗 35人
 - ・ オートバイ盗 18人
 - ・ 車上ねらい 6人
 - ・ 色ねらい 4人
 - ・ 職場ねらい 5人
 - ・ 置引き 3人
 - ・ その他 18人
- 粗暴犯は70人で、前年比13人(22.8%)増加
 - ・ 傷害 37人
 - ・ 暴行 15人
 - ・ 恐喝 11人
 - ・ 脅迫 3人
 - ・ 強要 4人

(3) 学職別



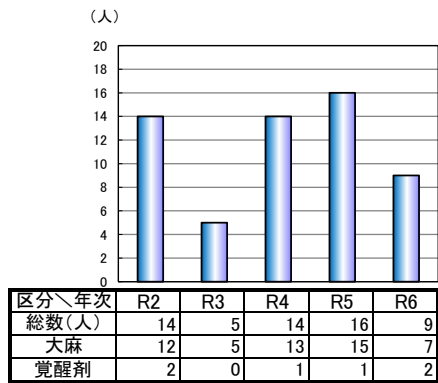
〈学職別〉

年次\区分	総数	未就学	小学生	中学生	高校生	他学生	有職	無職
令和6年	398	1	59	126	108	13	54	37
令和5年	342	0	77	104	85	16	38	22
増減数	56	1	-18	22	23	-3	16	15
増減率	16.4	-	-23.4	21.2	27.1	-18.8	42.1	68.2

【特徴点】

- 中学生は126人で、前年比22人(21.2%)増加
- 高校生は108人で、前年比23人(27.1%)増加
- 中学生と高校生で全体の58.8%を占める
- 小学生は59人で、前年比-18人(-23.4%)減少

2 薬物乱用少年の検挙状況

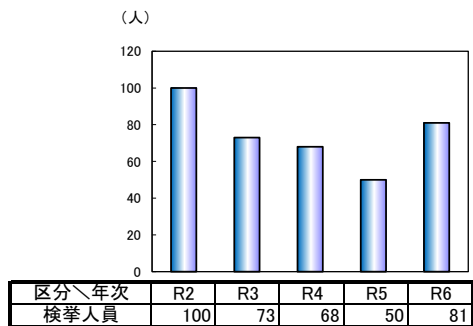


※大麻には、麻薬等特例法、麻薬等取締法で検挙した大麻事犯を含む。

【特徴点】

- 大麻取締法違反が6人(有職・男子4、大学生・男子1人、無職・男子1人)
- 麻薬等取締法違反が1人(無職・男子1人)
- 覚醒剤取締法違反が2人(大学生・男子1人、無職・男子1人)

3 福祉犯の検挙状況



【特徴点】

- 検挙人員は81人で、前年比31人(62.0%)増加
- 違反形態は児童買春・児童ポルノ禁止法違反が26人、少年保護育成条例違反が19人、性的姿態撮影等処罰法違反が26人、二十歳未満飲酒禁止法違反が1人
- 児童ポルノ事犯の検挙人員は20人で、前年比2人(11.1%)増加
- 被害少年は94人で、前年比35人(59.3%)増加

【主な検挙事例】

- ・ 中学生被害の少年保護育成条例違反(わいせつ行為を見せる行為の禁止)、16歳未満者に対する映像送信要求事件(1月・東)
- ・ 無職少年被害の風営適正化法違反(年少者使用)事件(1月・山鹿)
- ・ 高校生被害の児童買春事件(3月・中央)
- ・ 高校生被害の性的姿態等撮影(ひそかに撮影)未遂事件(3月・北合志)
- ・ 未就学児被害の性的姿態等撮影(13歳未満者)事件、児童ポルノ法違反(姿態をとらせ製造)事件(4月・南)
- ・ 小学生被害の性的姿態等撮影(ひそかに撮影)事件(4月・宇城)
- ・ 小学生被害の性的姿態等撮影(13歳未満者)事件、児童ポルノ法違反(盗撮製造)事件(9月、10月、11月、12月・北合志)

4 不良行為少年の補導状況

〈学職別〉

年次\区分	総数 (人)	未就学	小学生	中学生	高校生	他学生	有職	無職
令和6年	1,023 (222)	0 (0)	16 (6)	184 (56)	402 (108)	45 (6)	180 (20)	196 (26)
令和5年	1,051 (235)	0 (0)	5 (3)	192 (71)	418 (102)	43 (5)	229 (18)	164 (36)
増減数	-28 (-13)	0 (0)	11 (3)	-8 (-15)	-16 (6)	2 (1)	-49 (2)	32 (-10)
増減率	-2.7 (-5.5)	— (—)	220.0 (100.0)	-4.2 (-21.1)	-3.8 (5.9)	4.7 (20.0)	-21.4 (11.1)	19.5 (-27.8)

〈行為別(主な行為)〉

年次\区分	総数 (人)	深夜はいかい	喫煙	飲酒	怠学	家出	粗暴行為	その他
令和6年	1,023 (222)	481 (133)	411 (42)	56 (23)	20 (4)	10 (9)	11 (0)	34 (11)
令和5年	1,051 (235)	535 (141)	384 (55)	52 (12)	19 (2)	16 (11)	13 (0)	32 (14)
増減数	-28 (-13)	-54 (-8)	27 (-13)	4 (11)	1 (2)	-6 (-2)	-2 (0)	2 (-3)
増減率	-2.7 (-5.5)	-10.1 (-5.7)	7.0 (-23.6)	7.7 (91.7)	5.3 (100.0)	-37.5 (-18.2)	-15.4 (—)	6.3 (-21.4)

() は、女子で内数を表す。

【特徴点】

- 補導人員は1023人で、前年比-28人(-2.7%)減少
- 学職別では「高校生」が402人で最も多く、全体の39.3%を占める
- 行為別では「深夜はいかい」が481人で最も多く、全体の47.0%を占める
- 男女比は男子801人(78.3%)で、女子は222人(21.7%)